

6月(がつ)17日(にち)

福岡県(ふくおかけん)

緊急(きんきゅう)事態(じたい)宣言(せんげん)が 解除(かいじょ)された後(あと)の 福岡県(ふくおかけん)の 対応(たいおう) (6月(がつ)19日(にち)以降(いこう))

福岡県(ふくおかけん)では 5月(がつ)14日(にち)の「緊急(きんきゅう)事態(じたい)宣言(せんげん)」が 解除(かいじょ)された 後(あと) コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に なる人(ひと)の 数(かず)を 見(み)ていました。

そして 6月(がつ)1日(にち)から 北九州市(きたきゅうしゅうし) 以外(いがい)の ところは 病気(びょうき)が 広(ひろ)がらないようにするための 取組(とりくみ)を ゆるめることに しました。

また コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に なる人(ひと)が すごく増(ふ)えた 北九州市(きたきゅうしゅうし)では 引(ひ)き続(つづ)き 用事(ようじ)が ないときは あまり 外(そと)に 出(で)ないようにすることや お店(みせ)や 施設(しせつ)の 休業(きゅうぎょう)について お願(ねが)いしていました。

これまで 協力(きょうりょく)してくれた たくさんの 県民(けんみん)の みなさん 会社(かいしゃ)の みなさん そして 病院(びょういん)などで コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)の 人(ひと)を 治療(ちりょう)するために 一生懸命(いっしょうけんめい) 働(はたら)いている みなさん 社会(しゃかい)のために 働(はたら)いている そのほかの みなさんに 感謝(かんしゃ)します。

北九州市(きたきゅうしゅうし)では 5月(がつ)23日(にち)から 6月(がつ)16日(にち)まで コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)になる 人(ひと)が 156人(にん)いました。しかし 今(いま) コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)になる 人(ひと)は 直(ちよっ)近(きん) 1週間(しゅうかん)の 平均(へいきん)で 1日(にち) 1.4人(にん)となりました。コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)になる 人(ひと)の 数(かず)は 減(へ)ってきています。コロナウイルス(ころなういるす)の病気(びょうき)の 専門家(せんもんか)も 同(おな)じ 意見(いけん)です。

また 福岡県(ふくおかけん)では コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)になる人が 増えてきたとき 病院(びょういん)がすぐに 治療(ちりょう)できるように「福岡(ふくおか)コロナ(ころな)警報(けいほう)」という 目安(めやす)を 作(つく)りました。

この目安(めやす)によれば、今は、病院(びょういん)が すぐに 治療(ちりょう)できるための 準備(じゅんび)を しなければならない レベル(レベル)には なっていません。

福岡県(ふくおかけん)では 病気(びょうき)が 再(ふたたび) 広(ひろ)がらないようにする 取組(とり

く)みと 病院(びょういん)での 治療(ちりょう)の 準備(じゅんび)を しながら 皆(みな)さんが 以前(いぜん)のような 生活(せいかつ)や 仕事(しごと)を できるようにしていきます。

1. 北九州市(きたきゅうしゅうし)の 今後(こんご)の 対応(たいおう)について

北九州市(きたきゅうしゅうし)に 住(す)んでいる 人には 外出(がいしゅつ)や イベント(いべんと)を しないよう 願(ねが)いしたり お店(みせ)や 施設(しせつ)には 休業(きゅうぎょう)を 願(ねが)いしていました。

しかし 6月(がつ)19日(にち)から 次(つぎ)のことが できるように なります。

1. 北九州市(きたきゅうしゅうし)に 住(す)んでいる 人(ひと)が 旅行(りょこう)や 遊(あそ)び などで 県外(けんがい)へ 移動(いどう)すること
2. 北九州(きたきゅうしゅう)市内(しない)で イベント(いべんと)を 開(ひら)くこと
3. キャバレー(きゃばれー)や ナイトクラブ(ないとくらぶ) バー(ばー)などの 飲食店(いんしょくてん)や ライブハウス(らいぶはうす)などの 再開(さいかい)

福岡県(ふくおかけん)の 施設(しせつ)「関門(かんもん)海峡(かいきょう)ミュージアム(みゅーじあむ)」「北九州(きたきゅうしゅう)勤労(きんろう)青少年(せいしょうねん)文化(ぶんか)センター(せんたー)」「平尾(ひらお)台(だい)自然(しぜん)観察(かんさつ)センター(せんたー)」も 6月(がつ)19日(にち)から 開(あ)けます。

2. 6月(がつ)19日(にち)からの 取(と)組(く)み (福岡県(ふくおかけん)の 全(すべ)ての 地域(ちいき))

(1) 外出(がいしゅつ)について

- ・ 6月19日から 北海道(ほっかいどう) 埼玉県(さいたまけん) 千葉県(ちばけん) 東京都(とうきょう) 神奈川県(かながわけん) に行くことができます。
- ・ 外(そと)に 出(で)るときは 行(い)きたい ところで コロナウイルス(ころなういるす)の 病(び)気(き)が 広(ひろ)がっていないか 調(しら)べましょう。
また マスク(ますく)をつけたり 手(て)を よく 洗(あら)ったり コロナウイルス(ころなういるす)の 病(び)気(き)を 防(ふ)せぐ 工(く)夫(ふう)を しまししょう。
- ・ コロナウイルス(ころなういるす)の 病(び)気(き)を 防(ふ)せぐ 工(く)夫(ふう)が できていない ところには 行(い)かないようにしまししょう。
- ・ 6月(がつ)19日(にち)からは 福岡県(ふくおかけん)の 外(そと)から お客(きやく)を 入(い)れる ことが できるように なります。

(2) イベント(いべんと)を 開(ひら)くこと について

人(ひと)が 多(おお)く 集(あ)つまる イベント(いべんと)を 開(ひら)くときは コロナウイルス(ころなういるす)の 病(び)気(き)を 防(ふ)せぐ 工(く)夫(ふう)を してください。

※コロナウイルス(ころなういるす)の 病(び)気(き)を 防(ふ)せぐ 工(く)夫(ふう)

- ・たくさんの 人(ひと)を 入(い)れない。
- ・参加(さんか)する 人(ひと)が 手(て)を 消毒(しょうどく)できるように する。
- ・参加(さんか)する 人(ひと)は マスク(ますく)を つける。
- ・建物(たてもの)の 中(なか)の イベント(いべんと)は 窓(まど)や 扉(とびら)を 開(あ)けて 部屋(へや)の 空気(くうき)を よく 入(い)れ 替(か)える。

(3) お店(みせ)や 施設(しせつ)での 病気(びょうき)を 防(ふ)せぐ 工夫(くふう)について
 すべての お店(みせ)や 施設(しせつ)は コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)を 防(ふ)せぐ 工夫(くふう)を してください。

※「座(すわ)る席(せき)は 周(まわり)に スペース(すぺーす)を 作(つく)る」 「お客(きゃく)さんが 帰(かえ)るたびに 消毒(しょうどく)や 掃除(そうじ)を する」など。

特(とく)に 日本(にほん)で コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)が 広(ひろ)がった 施設(しせつ)は 病気(びょうき)が 広(ひろ)がることを 防(ふ)せぐ 工夫(くふう)の 徹底(てっぺい)を お願(ねが)いします。

※コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)が 広(ひろ)がった 施設(しせつ)
 キャバレー(きゃばれー)、ナイトクラブ(ないとくらぶ)、バー(ばー)、カラオケボックス(からおけぼくす)、ライブハウス(らいふはうす)、スポーツジム(すぽーつじむ)、スポーツ(すぽーつ)教室(きょうしつ)など

(4) 職場(しょくば)への 出勤(しゅっきん)等(など)に ついて
 仕事(しごと)を する ところでも 人(ひと)と 会(あ)う 機会(きかい)を 減(へ)らす 必要(ひつよう)が あります。

次(つぎ)のような 工夫(くふう)を しましょう。

- ・仕事(しごと)を する ところに 来(く)る 人(ひと)を 減(へ)らす。
 ※自宅(じたく)で できる 仕事(しごと)は 自宅(じたく)で する。
- ・仕事(しごと)に行く 時間(じかん)を 少(すこ)し 変(か)える。
- ・できるだけ 電車(でんしゃ)や バス(ばす)ではなく 自転車(じてんしゃ)などを使(つか)って 仕事(しごと)の 場所(ばしょ)へ 行(い)く。

(5) 新(あたらしい)しい 生活(せいかつ)スタイル(すたいる)に 取(と)り組(く)みましょう

①「人(ひと)と 人(ひと)が 近(ちか)づき すぎない」②「マスクを つける」③「手(て)を よく 洗(あら)う」の3つことは コロナウイルスの 病気(びょうき)を 防(ふ)せぐ 基本(きほん)です。 コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)を 防(ふ)せぐ 工夫(くふう)を 取(と)り入れた 「新(あたらしい)しい生活(せいかつ)スタイル」に 取(と)り組(く)みましょう。

【基本的(きほんてき)なこと】

- せきや くしゃみが 出(で)るときは マスク(ますく)を する。
- マスク(ますく)を しないで せき くしゃみを するときは ティッシュ(ていっしゅ)や うでの うち側(がわ)で する。

○外(そと)に 出(で)たり 料理(りょうり)をする 前(まえ)などに 手(て)を よく洗(あら)う

○次(つぎ)の ところには 行(い)かない

・風(かぜ)が 通(とお)らない

・たくさんの人(ひと)が 集(あつ)まっている

・人(ひと)と 近(ちか)くで 話(はな)す

※気温(きおん)や 湿度(しつど)が 高(たか)い ところで 長(なが)い 時間(じかん) マスク(ますく)を 着(つ)けていると 熱中症(ねっちゅうしょう)に なるかもしれません。

・「外(そと)で 他(ほか)の 人(ひと)と 2メートル(めーとる)以上(いじょう) 離(はな)れることができるときは マスク(ますく)を はずす」

・「他(ほか)の 人(ひと)と 2メートル(めーとる)以上(いじょう) 離(はな)れることができる ところで マスク(ますく)を はずして 体(からだ)を 休(やす)める」

など マスク(ますく)を はずすことができるときは マスク(ますく)を はずして 熱中症(ねっちゅうしょう)に ならないように しましょう。

(6) 病院(びょういん)や 保健所(ほけんじょ)への 相談(そうだん)について

○次(つぎ)のような 症状(しょうじょう)が あるときは 「帰国者(きこくしゃ)・接触者(せつしょくしゃ)相談(そうだん)センター」へ 相談(そうだん)して ください。

・呼吸(こきゅう)が 苦(くる)しい。

・強(つよ)い だるさがある。

・熱(ねつ)が 高(たか)い。

・重症化(じゅうしょうか) しやすい人(ひと)や お腹(なか)に 赤(あか)ちゃんが いる人(ひと)で せきや 熱(ねつ)など 軽(かる)い かぜの 症状(しょうじょう)がある人(ひと)。

・軽(かる)い かぜの 症状(しょうじょう)が 続(つづ)いている とき。

病院(びょういん)に 行(い)く ときは 行く(い)前(まえ)に 必ず(かなら) 病院(びょういん)に 電話(でんわ)を かけてください。

3. 差別(さべつ)について

コロナウイルス(ころなういるす)に 対(たい)する 不安(ふあん)や 偏(かたよ)った 考(かん)がえで コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に なった人(ひと) 病院(びょういん)で 働(はたら)いている人(ひと) みなさんの 生活(せいかつ)を支(ささ)えるために 働(はたら)いている人(ひと)

そして その家族(かぞく)などに 対(たい)して 差別(さべつ)が 起(お)こっています。心(こころ)が 傷(きず)つく 言葉(ことば)や 差別(さべつ)は 絶対(ぜったい)に 許(ゆる)されません。県民(けんみん)の みなさんは このような 行動(こうどう)を 絶対(ぜったい)に しないで 正(ただ)しい 情報(じょうほう)を もとに 行動(こうどう)してください。

4. おわりに

今回(こんかい) 北九州市(きたきゅうしゅうし)で コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に かかる 人(ひと)が 増(ふ)えました。

しかし みなさんが 協力(きょうりょく)してくれたので コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に かかる 人(ひと)が 減(へ)って 福岡県(ふくおかけん)全体(ぜんたい)には コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)が 広(ひろ)がっていません。

しかし これから 社会(しゃかい)や 経済(けいざい)の 活動(かつどう)が 増(ふ)えていくと 再(ふたたび) コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)に かかる 人(ひと)が 増(ふ)えるかもしれません。 コロナウイルス(ころなういるす)を 治(なお)す 薬(くすり)や ワクチン(わくちん)が できるまで コロナウイルス(ころなういるす)の 病気(びょうき)と 戦(たたか)わなくては いけません。

この 戦(たたか)いに 勝(か)てるかどうかは みなさん 一人一人(ひとりひとり)の 考(かん)がえ や 行(こう)動(どう)で 決(き)まります。 周(まわり)の 人(ひと)たちと 力(ちから)を 合(あ)わせる ことが 大(たい)切(せつ)です。 これまでの 努(どりょく)力(りき)が 無(む)駄(だ)に ならない ように 新(あたらしい) 生(せい)活(かつ)ス(す)タ(た)イ(い)ル(る)に 取(と)り組(く)み コロナウイルス(ころなういるす)の 病(びょう)気(き)を 防(ふ)せぐ 工(く)夫(ふう)を しまし(し)ょう。 みなさんが 外(がい)出(しゅつ)や 仕(し)事(ごと)が でき(き)ない 暮(く)ら(ら)しに 戻(もど)ら(ら)ない た(た)め(め)に(に)も 協(きょう)力(りょく)を お願(ねが)い(い) します。